

中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	41 頁・ 資料 10-5-3:「野外 観察支援システム」と「植物観察 システム」の開発・1 行	・理科教育教室・ <u>人</u> 環境教育教室	・理科教育教室・ <u>人間</u> 環境教育教室
2	107 頁・ 資料 40-1-1: 評価 結果の研究費配分 への検討・26 行(枠 内)	<u>検討</u> することに <u>な</u> っている	<u>検討</u> すること <u>と</u> なっている
3	125 頁・ 資料 47-1-3: 茨城 大学地域連携 21 世 紀プラン「地域と 響き合う大学をめ ざして」・4 行	「 <u>地域</u> の <u>支</u> えられ、 <u>地</u> 域に	「 <u>地域</u> に <u>支</u> えられ、 <u>地</u> 域に

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 1-14・18 行	平成 18 年度には <u>3</u> 名	平成 18 年度には <u>2</u> 名
2	教育 1-14・ 資料 1-2-2-2： 短期語学研修制度・ 3 行・4 行	平成 19 年度 <u>33</u> 名 平成 18 年度 <u>20</u> 名	平成 19 年度 <u>43</u> 名 平成 18 年度 <u>10</u> 名
3	教育 1-15・ 資料 1-2-2-4： 科目等履修生制度・ 6 行	平成 17 年度 日本社会史史料購読 I	平成 17 年度 日本社会史史料講読 I
4	教育 1-24～25・ 資料 1-4-1-7： 学生表彰一覧	(表中) <u>平</u> <u>度</u> (1-21 の文中上は平成 17 年度 3 件と記述されており、その根拠となる資料が資料 1-4-1-7 である。印刷したその資料を見ると「成 17 年」と平成 17 年度分「2 件」が消えてしまっているが、電子データにはその 2 件は記述されている。)	(表中) <u>平</u> <u>成</u> <u>17</u> <u>年</u> <u>度</u> (平成 17 年度に次の 2 件を記述) <u>個人 人文 全日本中国語スピーチコンテスト茨城県大会基礎部門優秀賞受賞。</u> <u>集団 社会科 人文学部と文理・人文学部同窓会共催によるシンポジウム「働く意義・学ぶ意味」における実施・運営、発表への貢献</u>
5	教育 1-31・14 行	(資料 1-1-2- <u>2</u> ：人文学部のFD活動)	(資料 1-1-2- <u>1</u> ：人文学部のFD活動)
6	教育 1-31・40 行	ということが <u>できる</u> 。	ということが <u>わかる</u> 。

	ページ・行数等	誤	正
7	教育 1-31・44 行	評価方法を <u>明らか</u> した。こうした教員側の判定の <u>みなら</u> 、	評価方法を <u>明らかに</u> した。こうした教員側の判定の <u>みならず</u> 、

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 3-3・ 資料 3-1-1-1:教育学部教育組織・入学定員・収容定員・在籍者数（表中）	学校 教員 養成 課程	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程
2	教育 3-9・ 資料 3-2-1-2:教育学部各課程履修基準（最初の表の見出し部分）	学校教員養成課程	学校教育教員養成課程
3	教育 3-10・4行	小学校教員免許状	小学校教諭免許状
4	教育 3-10・5行	中学校教員免許状	中学校教諭免許状
5	教育 3-11・ 資料 3-2-1-3:教員養成系課程の科目構成（表の見出しの部分）	学校教員養成課程教職科目 学校教員養成課程小学校教科に関する科目 学校教員養成課程中学校教科に関する科目 学校教員養成課程特別支援教育に関する科目	学校教育教員養成課程教職科目 学校教育教員養成課程小学校教科に関する科目 学校教育教員養成課程中学校教科に関する科目 学校教育教員養成課程特別支援教育に関する科目

	頁数・行数等	誤	正
6	教育 3-16・7 行 (資料を除く)	教員免許状取得できる	教員免許状が取得できる
7	教育 3-17・ 資料 3-3-1-1: コース・選修の科目区分ごとの授業形態の組合せ例 (表の見出し部分)	学校教育課程・教育基礎選修での授業形態の組合せ 情報文化課程生活デザインコースでの授業形態の組合せ	学校教育教員養成課程・教育基礎選修での授業形態の組合せ 情報文化課程生活デザインコースでの授業形態の組合せ
8	教育 3-24・ 資料 3-4-1-1: 平成 16-19 年度在籍学生の卒業率 (表中)	学校教育課程	学校教育教員養成課程
9	教育 3-24・10~11 行 (資料を除く)	(資料 3-4-1-2: 平成 16-19 年度卒業生の取得した教員免許教員免許状取得状況)	(資料 3-4-1-2: 平成 16-19 年度卒業生の取得した教員免許状取得状況)
10	教育 3-24・ 資料 3-4-1-2: 平成 16-19 年度卒業生の取得した教員免許教員免許状取得状況 (表の見出し部分)	(資料 3-4-1-2: 平成 16-19 年度卒業生の取得した教員免許教員免許状取得状況)	(資料 3-4-1-2: 平成 16-19 年度卒業生の取得した教員免許状取得状況)
11	教育 3-31・27 行	成果を <u>上げる</u> こと期待され	成果を <u>上げる</u> ことが期待され
12	教育 3-32・7 行 (資料を除く)	主体的 <u>習</u> 活動の推進	主体的 <u>学</u> 習活動の推進

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 4-8・ 資料 4-2-1-2：専 攻・専修教育科目 編成例（注の部分）	<u>研究家</u> 共通科目	<u>研究科</u> 共通科目
2	教育 4-13・10 行（資 料を除く）	相互に <u>学び合う</u> 行 <u>う</u> 取組	相互に <u>学び合う</u> 取組
3	教育 4-21・ 22～23 行	<u>実施方法</u> を改善に	<u>実施方法</u> の改善に

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 5-14・8 行（資料を除く）	TAが <u>配置され</u> など学生が	TAが <u>配置される</u> など学生が

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 6-3・13 行	<u>IT基盤センター、)</u>	<u>IT基盤センター)</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 7-2・ 資料 7-0-2:茨城大 学理工学研究科の 教育研究上の目 的・1行	教授研究し、 <u>学術</u> の	教授研究し、 <u>学術</u> の
2	教育 7-5・31行	全体評価・ <u>設計</u>	全体評価を <u>設計</u>
3	教育 7-12・15行	<u>工学部</u> 特別講義	<u>工学</u> 特別講義
4	教育 7-12・20行	機関から <u>客員教員の招聘した講義</u> を開 講	機関から <u>招聘した客員教員の講義</u> を開 講
5	教育 7-15・36行(資 料を除く)	<u>導</u> 教員変更の柔軟化	<u>指導</u> 教員変更の柔軟化
6	教育 7-20・2行	<input type="checkbox"/> モジュール製品	モジュール製品 (スペースを詰める)
7	教育 7-20・16行	記述内容を <u>充実</u> している。	記述内容が <u>充</u> 実している。
8	教育 7-22・26～27 行	申請時 <u>まで</u> 完成する	申請時 <u>までに</u> 完成する
9	教育 7-26・13行	<u>専修免許</u> 取得	<u>専修教員免許状</u> 取得

	頁数・行数等	誤	正
10	教育 7-28・17 行(資料を除く)	P7- <u>36</u>	P7- <u>37</u>
11	教育 7-38・ 資料 7-5-2-4: 博士 後期課程修了生の 社会人の割合 (資料名)	(資料 7-5-2-4: 博士後期課程 <u>修了生</u> の <u>社会人</u> の割合)	(資料 7-5-2-4: 博士後期課程 <u>入学者</u> の <u>社会人・留学生</u> の割合)
12	教育 7-40・ 22～23 行	学外の <u>著明</u>	学外の <u>著名</u>
13	教育 7-41・4 行	③ <u>事例 4</u>	④ <u>事例 4</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 8-3・ 資料 8-1-1-1:学科別の学生定員と現員 (表中の生物生産科学科のカリキュラム名)	植物 <u>性</u> 産科学カリキュラム 動物 <u>性</u> 産科学カリキュラム	植物 <u>生産</u> 科学カリキュラム 動物 <u>生産</u> 科学カリキュラム
2	教育 8-4・ 資料 8-1-1-2:教員組織の構成 (表の下の記述)	(出典：茨城大学農学部概要 2007 ()) (印刷すると前行の文字と出典カッコの文字が重なってしまう。)	*副学長 (出典：茨城大学農学部概要 2007 (一部修正)) (電子データ上は上記である)
3	教育 8-12・ 資料 8-4-1-1:平成 19 年度 (平成 20 年 3 月) 卒業状況 (表:上段及び下段 (うち外国人留学生数))	緑環境システム <u>科学</u> カリキュラム	緑環境システム <u>科学</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育9-11・17行(資料を除く)	<u>終了後</u>	<u>修了後</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 1-8・26 行	<u>準教授</u>	<u>准教授</u>
2	研究 1-11・6 行	<u>一般への等への</u>	<u>一般等への</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 2-5・13 行（資料を除く）	研究業績 <u>の</u> 公表	研究業績 <u>を</u> 公表
2	研究 2-8・5 行	研究分野は <u>多様性</u>	研究分野は <u>多様</u>
3	研究 2-9・29 行	実験機器 <u>に</u> 使用法	実験機器 <u>の</u> 使用法

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究3-11・25行(資料を除く。)	(株) <u>バイオケモフotonクス</u>	(株) <u>バイオフotonケモニクス</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 5-6・29 行	(株) <u>バイオケモフotonクス</u>	(株) <u>バイオフotonケモニクス</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 6-8・ 資料 6-2-1-2:受託 研究と共同研究で の成果状況 5) 特許の取得ま たは申請に至った 研究例の④・2行	化粧品成分として <u>特許申</u>	化粧品成分として <u>特許を申請</u>
2	研究 6-8・ 10 行（資料を除 く。）	「研究活動の <u>活発</u> で	「研究活動が <u>活発</u> で